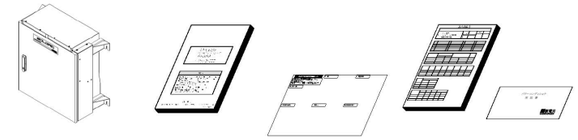
PVS9R9T200B□□□/PVS010T200B□□□

設置ガイド

本設置ガイドは、9.9kW/10kW 太陽光発電用パワーコンディショナ PVS9R9T200B□□□/PVS010T200B□□□（以下 PCS）の設置時に注意していただきたい事項を記載しております。
特に設置条件と配線方法について記載していますので参考にしてください。
その他詳細については、PCS に同梱している『取扱説明書』をお読みください。
※配線作業時以外は正面扉を確実に閉めてください。

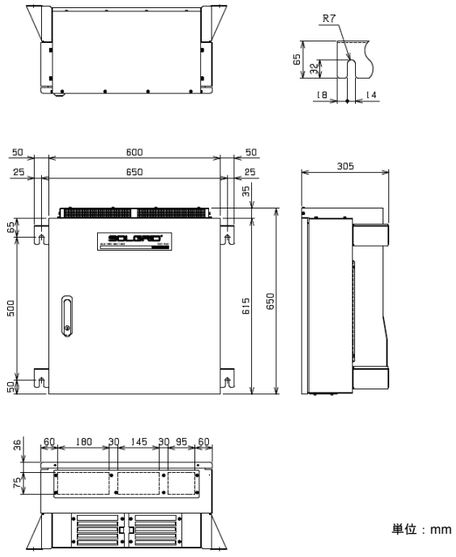
1．送付品の確認



①装置本体（PVSXXXT200B□□□） □ 1台
②取扱説明書 □ 1冊
③設置ガイド（本書） □ 1枚
④検査成績書 □ 1冊
⑤保証書 □ 1枚
⑥ご利用にあたっての注意事項 □ 1冊
⑦顧客登録申請書 □ 1枚
⑧正面扉の鍵 □ 2個
⑨ボルト（M10×40）、ナット（M10）、平座金（2個）、バネ座金 □ 4式

2．外形寸法・質量

(1) 寸 法



単位：mm

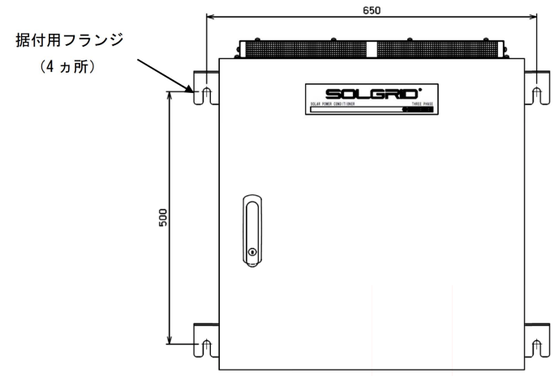
標準品の外形寸法図

(2) 質 量

62kg 以下

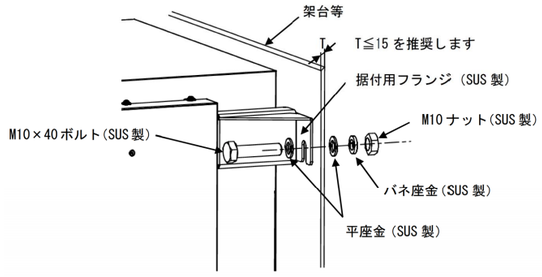
3．設置方法

壁掛けにて使用する場合は、据付用フランジを架台等に取り付けてください。



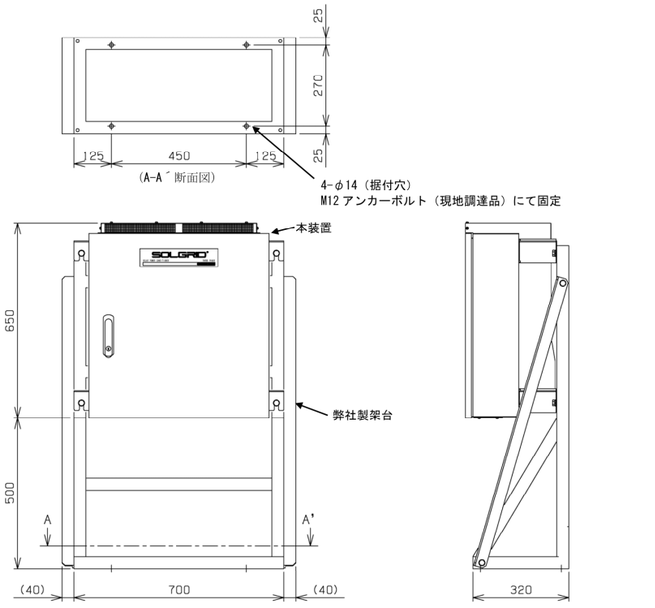
壁掛けの設置方法

単位：mm



据付用フランジの固定方法

据置きにて使用する場合は、弊社製架台（別途購入品）の下部をアンカーボルト等で固定し、PCS の据付用フランジを架台に取り付けてください。
アンカーボルト等架台の設置に使用する部品は施工側で準備してください。



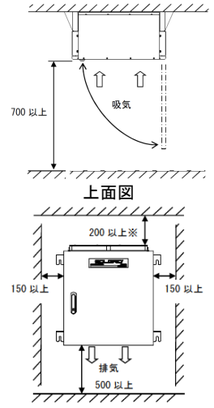
（正面図） （右側面図）

単位：mm

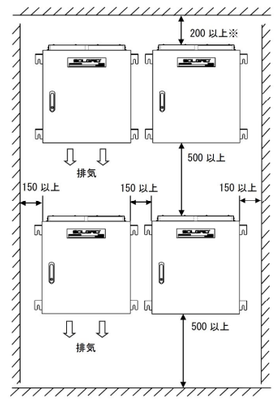
据置きの設置方法

4．周囲との間隔

PCS は、下図のように間隔を取って設置してください。



単機設置時の正面図



複数台設置時の正面図

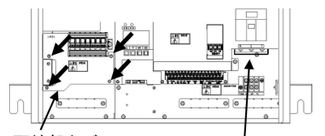
単位：mm

※正面扉の開閉、吸排気および保守スペース確保のため、上記寸法の間隔を設けてください。なお、上部側に熱源がある場合は、上部に 500mm 以上の間隔を設けてください。間隔が狭いと冷却効果が低下します。
※前面上側の吸気ダクトより外気を取り込み、下側の排気ダクトから排気する構造となっています。

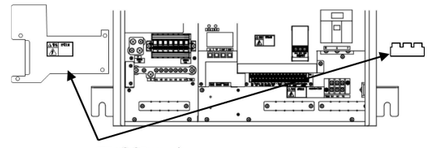
注意	（1）PCSの下部側には積雪や草木の影響を受けないように離隔を確保してください。 （2）下部離隔250mmでの設置も可能ですが、排気ファン交換時にPCS本体の取外しが必要となる場合があります。

5．配線口金具の加工

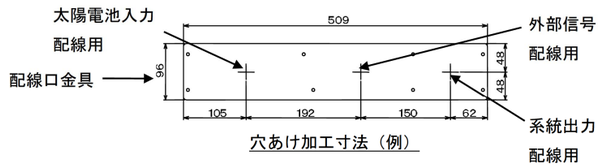
配線部カバーの位置および、穴あけ加工寸法（例）は下図をご参照ください。
全ての配線工事が終了した際には、配線部カバーを元通りに取り付けてください。



配線部カバーの位置



配線部カバーの取り外し



穴あけ加工寸法（例）

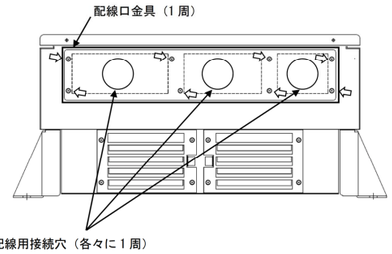
配線部カバー・配線口金具

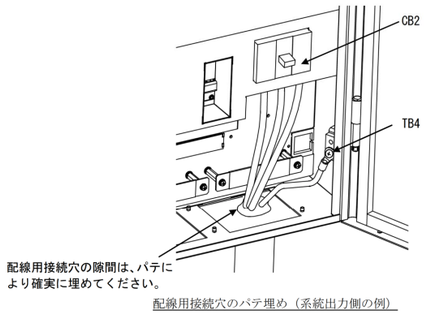
注意	（1）配線には電気工事士の資格が必要です。経験を有しておらず専門知識のない人は、配線作業を行わないでください。 （2）電線管を使用する等、工事後の配線に応力がかからないように配慮してください。

６．防水処理

防水処理は下図を参照してください。

配線口金具の周囲、配線用接続穴の周囲、ねじ止め（8 カ所）に防水処理を行ってください。



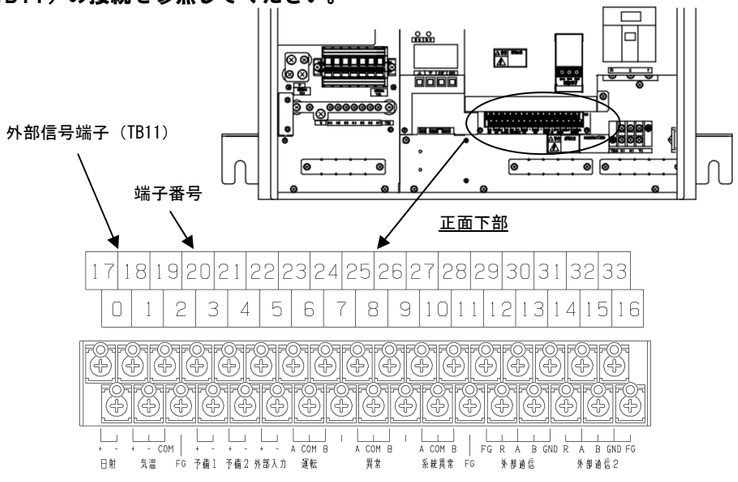


配線用接続穴のパテ埋め（系統出力側の例）

注意	配線口金具および配線用接続穴の穴あけ加工後は防水処理（シーリング、パテ埋め等）を行い、確実に隙間を埋めてください。

７．外部信号端子に関して

PCS の計測・監視・制御等に用いる外部信号端子を下図に示します。
機能、ピンアサインおよび電線種等の詳細は『取扱説明書』9.5 項 外部信号端子（TB11）の接続を参照してください。


外部信号端子（TB11）
端子番号
正面下部
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
+ - + - COM
日射
気温
FG 予備1 予備2 外部入力
+ - + - + - A COM B
運転
A COM B
異常
A COM B
系統異常
FG R A B GND
外部通信
R A B GND FG
外部通信2

※外部通信 2 は不使用

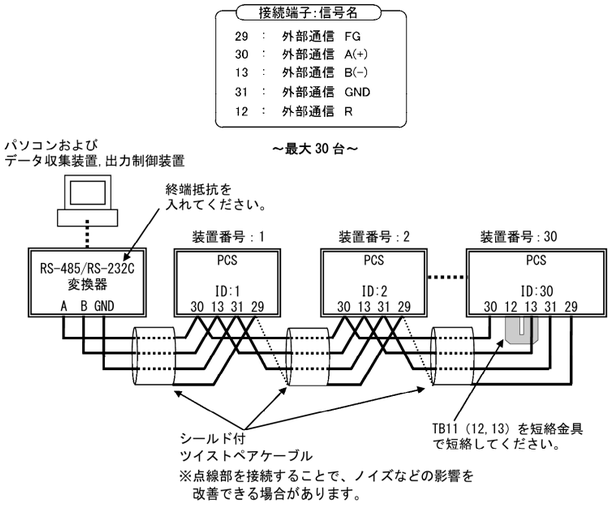
注意	（1）圧着端子は、絶縁スリーブ付を推奨します。 （2）配線は、ツイストペアケーブル（KPEV-SB 0.5mm²）を推奨します。 （3）各ケーブルは、施工側で準備してください。

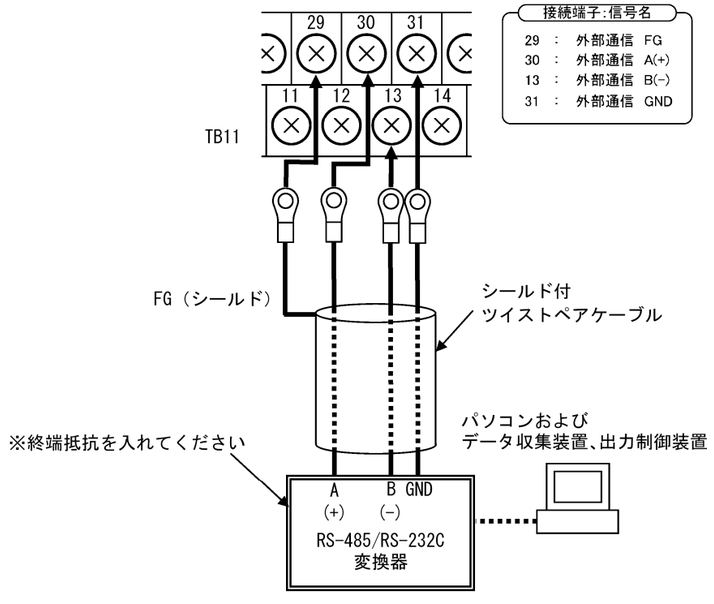
８．パソコンおよびデータ収集装置、出力制御装置の配線

PCS をパソコンおよびデータ収集装置、出力制御装置に接続してデータ収集や出力制御を行う場合は、外部信号端子に下記接続図を参考にして配線してください。

（1）PCS とパソコンおよびデータ収集装置、出力制御装置を接続する際は、データ収集装置、出力制御装置側に終端抵抗を入れてください。

（2）末端の PCS は TB11（12,13）間を短絡金具で短絡してください。
※短絡することで終端抵抗が挿入され通信が安定に動作します。
※PCS を単機で使用する場合でも、TB11（12,13）間は短絡金具で短絡した状態としてください。（出荷時は、短絡金具を取り付けてあります。）

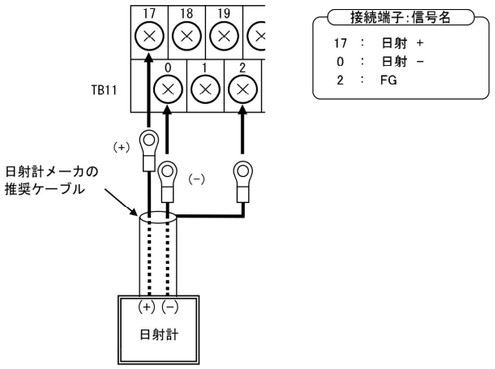




外部信号端子への接続図

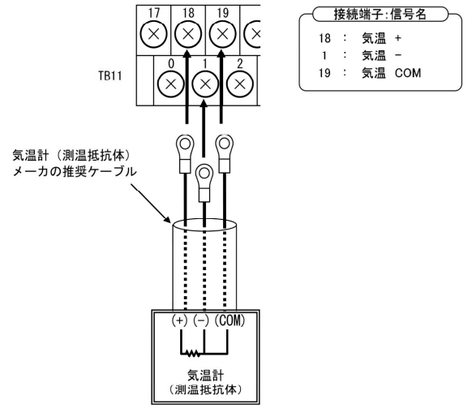
注意	（1）圧着端子は、絶縁スリーブ付を推奨します。 （2）配線は、ツイストペアケーブル（KPEV-SB 0.5mm²）を推奨します。 （3）各ケーブルは、施工側で準備してください。

９．日射計の配線



注意	（1）日射計とPCS間の配線距離は、出来る限り短く配線してください。 （2）日射計の選定に関しては『取扱説明書』を参照してください。

１０．気温計の配線



注意	（1）気温計とPCS間の配線距離は、出来る限り短く配線してください。 （2）気温計の選定に関しては『取扱説明書』を参照してください。

１１．その他

（1）配線に関する詳細は『取扱説明書』9 項 配線の接続を参照してください。

（2）絶縁抵抗試験ついては『取扱説明書』8.3 項 絶縁抵抗試験の方法を参照してください。

（3）不明点は『取扱説明書』を参照して作業を行ってください。

注意	配線接続後や操作パネル、遮断器、断路器の操作後は正面扉を確実に閉めてください。